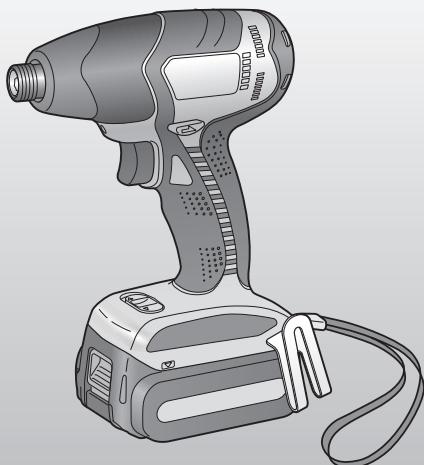


取扱説明書

充電 オイルパルスインパクトドライバー<プロ用>

品番 EZ7545LJ2S
EZ7545LS2S
EZ7545LR1S
EZ7545X



- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ご使用前に「安全上のご注意」(2~6ページ)を必ずお読みください。
 - 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	2~6	ご使用前に
ほこり・水についてのご注意	7	
各部のなまえとはたらき	7~9	
・付属品・別売品	9	
充電する	10~11	使いかた
ご使用前の準備	12~13	
ご使用方法	14	
作業終了	14	
引掛フックの使いかた	15	
別売品の取り付けかた	15	
LEDライトを利用する	15	
お手入れ・保管	16	お手入れ・保管
電池パックについて	17	
締付トルクについて	18	お知らせ
能力	19	
仕様	20	
ご愛用者登録について	20	
故障かな?と思ったとき	21~22	点検方法
保証とアフターサービス	23	

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



当社充電工具(本体・電池パック・充電器)は、液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂を未然に防ぐため、下記のような取り扱いはしないでください。

- 作業中に切りくずやほこりが電池パックに降りかかるような作業はしない。
- 保管時、電池パックは切りくず、ほこりを落とし、工具ケース収納時は金属(ねじ、釘など)とは一緒にしない。
- 当社製商品以外で使用しない。
- 分解、修理、改造をしない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
- 電池パックに釘を刺したり、過度な衝撃・外力を与えたりしない。
- 電池パックの端子部を金属などで接触させない。
- 電池パックを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない。
- 劣化した電池パックは使用しない。
- 水などの導電体で濡れるような使用はしない。
- 腐食性のガスのある場所で使用しない。

発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。

濡れた場合は、すぐに使用を中止してください。

- 電池パックは専用充電器以外では充電しない。
電池の液漏れ、発熱、破裂のおそれがあります。



禁止



必ず守る



警告

- 作業を中断するときや使用していないときは正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にする。

- ビットや付属品の交換時、本体保管時は必ず正逆切替スイッチをスイッチロックの位置にし、電池パックを本体からはずす。
守らないと不意に動作して事故になるおそれがあります。

- 電池の液が漏れたときは、素手で液をさわらず、以下の処置をする。

- ・液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にて相談ください。
- ・液が体や衣服に付くと、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分洗い流したあと、医師にて相談ください。
- ・液漏れした電池パックは、使用を中止し、火に近づけないようにしてください。すぐに販売店にて相談ください。

- 作業箇所に電線管や水道管、ガス管などの埋設物がないことを確認する。
埋設物に触ると感電や漏電・ガス漏れなどの事故につながるおそれがあります。

- 騒音の大きい作業では耳栓、耳覆い(イヤマフ)などの防音保護具を着用する。
守らないと聴力に悪い影響を与えるおそれがあります。

- 作業時は保護めがねを使用する。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用する。
守らないと目、のどに傷害を受けるおそれがあります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

- 電源プラグのほこり等は定期的にとる。
プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 指定の付属品やアタッチメントを使用する。
守らないとけがをするおそれがあります。

- 作業する場所は十分に明るくする。
暗く視界が悪いと事故やけがの原因になります。

- 加工するものはしっかり固定する。
不意に動き、けがをするおそれがあります。
安全のため、固定にはクランプや万力などを利用してください。

- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめ、本体が落下しないようにワイヤーなどで保持する。
本体が落下してけがをするおそれがあります。

- 使用中、本体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、ただちにスイッチを切って使用を中止する。
お買い上げの販売店、または、パナソニックお客様ご相談センターにて相談ください。そのまま使用していると、けがの原因になります。

警告

- 充電中に充電器から異音や異常な発熱、異臭を感じたらすぐにコンセントから電源プラグを抜き、電池パックをはずし、お買い求めの販売店へ点検・修理を依頼する。
- 定期的に充電器の風穴にほこりがつまっているか、また冷却ファンが付いているものについては、充電中に回転していることを点検する。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂のおそれがあります。

- 本体落下防止のため、吊りひもに手を通して使用する。

また、高所作業時は下に人がいないことを確かめる。

- 引掛フックは本体に留めネジでしっかりと固定する。
守らないと本体落下による事故のおそれがあります。

- 電池パックは黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認する。

守らないと電池パックが落下し事故になるおそれがあります。

- ビットなど先端工具類や付属品は取扱説明書にしたがい確実に取り付ける。
確実に取り付けないと、はずれてけがをするおそれがあります。

- 調節用いたキーやレンチなどの工具類を取りはずしてから使用する。
守らないと不意にはずれて、けがのおそれがあります。

- 髪や衣服、アクセサリーなどが巻き込まれないような服装で作業する。
守らないと回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。
長い髪は、帽子やヘアカバーで覆うなどし、だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。

- 刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保つ。
破損した刃物類で作業すると、けがのおそれがあります。

- コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない。
たとえ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

- 電源コード・プラグを破損するようなことはしない。(傷つけたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、束ねたりしない)
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。コードやプラグは定期的に点検し、破損している場合は販売店にご相談ください。

- 換気のよくない場所で充電しない。

- 使用中や充電中、本体、電池パックや充電器を布などで覆わない。
- 直流電源やエンジン発電機・変圧器で充電器を使用しない。

- 可燃性の液体やガスのある場所で、使用したり充電したりしない。
発熱・発煙・発火・破裂のおそれがあります。

- 本体や電池パックから発煙したときは、煙を吸い込まない。
身体に害を及ぼすおそれがあります。

- 本体または充電器の風穴をふさがない。
やけどをしたり異常加熱により、発火するおそれがあります。



必ず守る



禁止

警告

- 本体や充電器の風穴から出る熱風を直接肌に当てない。

- 作業直後はビットホルダー、ビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。

- 指定された用途以外に使用しない。
けがをするおそれがあります。

- 引掛けフック使用時は、先のとがった先端工具などを取り付けない。
けがの原因になります。

- 引掛けフック使用中は、体を激しく動かさない。
本体落下による事故のおそれがあります。

- LEDライトを懐中電灯として使用しない。
十分な明るさを確保していないため、このライトを使って暗い場所を移動すると事故のおそれがあります。

- LEDライトの光を直接目に当てない。
LEDライトの光が連続して目に当たると目を傷める原因になります。

- 使用中は巻き込まれるおそれがある手袋を着用しない。
回転部に巻き込まれ、けがをするおそれがあります。

- 本体や電池パックに油など異物がついた状態で使用しない。
本体や電池パックが落下して事故になるおそれがあります。
また、内部に油などの異物が入ると、発熱・発火・破裂のおそれがあります。

- 使用中はビットなどの回転部や切りくずには体または体の一部を近づけない。
不意にはずれたり破損したりしたビットや切りくずが当たってけがのおそれがあります。ビットなどの先端工具は定期的に交換してください。

- 金属への穴あけには、使用しない。
高トルクのため金工ドリルの刃先が欠けて、けがのおそれがあります。

- 改造はしない。また、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがのおそれがあります。

- 修理はお買い上げの販売店または、当社ご相談窓口にご相談ください。

- ぬれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

- 充電工具は、下記のような取り扱いはしないでください。

- 雨ざらしや湿った場所で使用や放置をしない。

- 水に浸かるような使用をしない。
発煙、発火、破裂のおそれがあります。

警告



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



電源プラグを抜く



禁止

!**注意**

- 子供の手の届くところに置かない。
事故やトラブルのおそれがあります。
- 本体を、50 °C以上になる場所に保管しない。
動作異常のおそれがあります。
- モータがロックするような無理な使いかたはしない。
発煙、発火のおそれがあります。
安全に能率よく作業するため、能力に合った速さで作業してください。
- 無理な姿勢で作業をしない。
転倒してけがをするおそれがあります。
常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
- 疲れている場合は使用しない。
事故やけがのおそれがあります。
- 子供など作業者以外を作業場に近づけたり、充電工具や充電器に触れさせたりしない。
けがのおそれがあります。
- 本体が熱くなったら作業を中断し、温度が下がってから使用する。
守らないとやけどをするおそれがあります。
複数の電池パックにわたる連続作業はしないでください。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。
コードを持って抜くと感電・ショートの原因になります。
- 使用前に、本体、電池パック、充電器および先端工具やその他の部品が損傷がなく正常に作動することを確認する。
守らないと破損などによりけがをするおそれがあります。
- 作業する場所はきれいに保つ。
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- 取り扱いや作業の方法、周りの状況などに十分注意し、常識を働かせて作業する。
守らないと事故やけがのおそれがあります。
- 屋外で充電する場合は、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用する。
守らないとケーブルが破損して発火、発煙のおそれがあります。
使用前にコードの破損が無いか点検してから使用してください。
- 屋外での作業の場合には、滑り止めのついた履物を使用する。
守らないと滑ってけがの原因になります。



必ず守る

ご使用前に

ほこり・水についてのご注意

- 本製品はほこりや水に対する影響が小さく抑えられるように設計されていますが、ほこりや水によって故障しないことを保証しておりません。
取り扱いに注意してください。
過度なほこりがあるところ、水中、雨にさらされるところでは使用しないでください。
- 通常の使用において発生する製品または材料の欠陥に起因する故障のみ保証対象となります。
改造、事故、誤用、本体内への液体・異物混入、乱用、設置における無視、不適切な調整、不適切なメンテナンス・補修、取扱説明書に準じない使用は、保証対象外です。
(保証対象・期間につきましては、保証書をご確認ください。)
- 工具本体に電池パックを装着した状態で、国際規格(IEC60529)に規定されたIP56の保護等級に要求される試験を認証機関Intertekで実施し合格しております。

<IP保護等級の例>

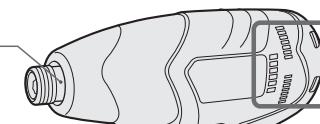
IP 5 X	じんあいの侵入を完全に防止することはできないが、電気機器の所定の動作及び安全性を阻害する量のじんあいの侵入がないように配慮しています。 (直径75 μm未満のタルク粉が工具内部に侵入する条件)
IP X 6	あらゆる方向からのノズルによる強力なジェット噴流水によっても有害な影響を受けないように配慮しています。 (内径12.5 mmの注水ノズルを使用して、約3 mの距離から約100 L/分の常温の水道水を約3分間注水する条件)

各部のなまえとはたらき

本体

ビットホルダー

P12参照



風穴

LEDライト

P14参照

正逆切替スイッチ

P14参照

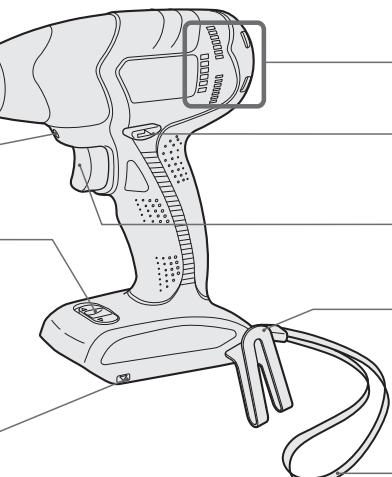
打撃力切替スイッチ

P13参照

スイッチ

P14参照

部材に応じて打撃力の切り替えが可能
「H」強打撃
「S」弱打撃



位置合わせマーク

P13参照

引掛フック

P15参照

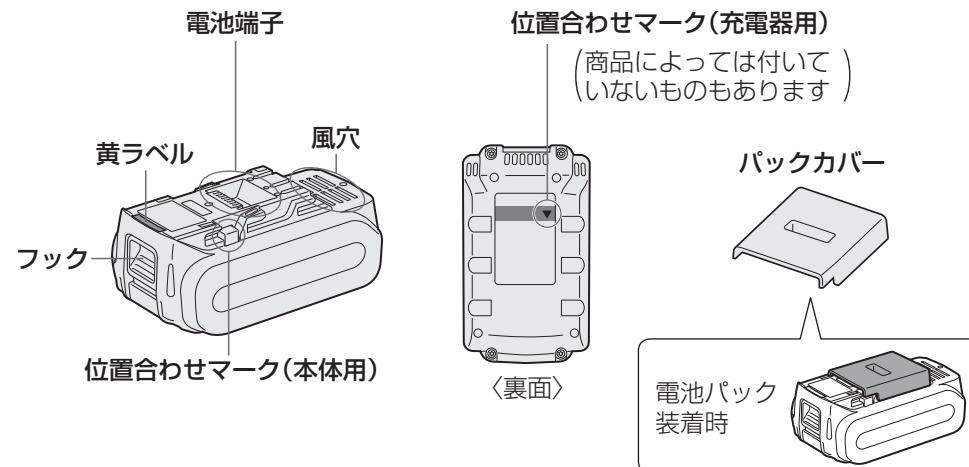
腰ベルトに
引っ掛け可能

吊りひも

各部のなまえとはたらき(つづき)

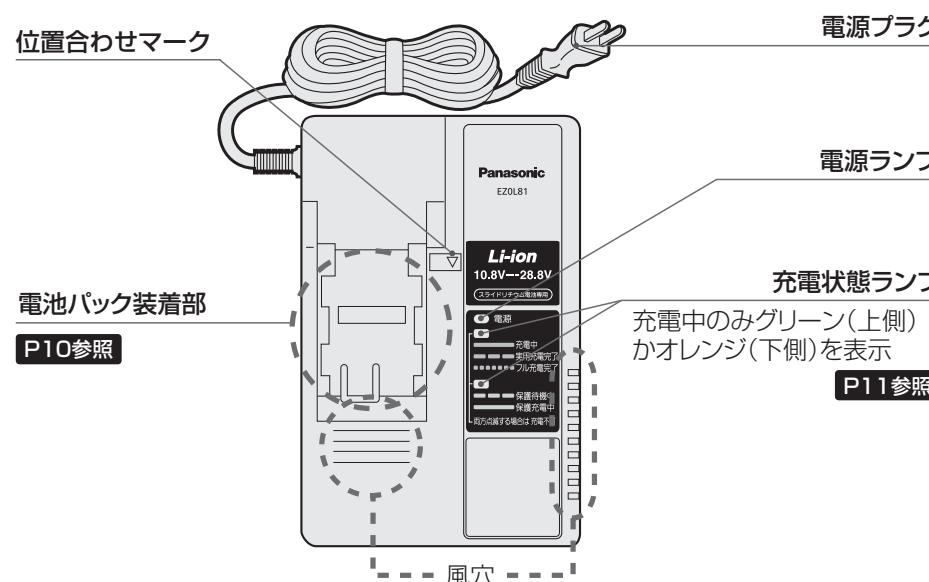
電池パック P17 参照

(EZ7545Xには付属していません)



充電器 P10 参照

(EZ7545Xには付属していません)



付属品・別売品

商品	付属品				別売品の有無
	EZ7545 LJ2S	EZ7545 LS2S	EZ7545 LR1S	EZ7545 X	
両頭プラスビット #2 \oplus 65 mm	<input type="radio"/> (1本入)	<input type="radio"/> (1本入)	<input type="radio"/> (1本入)	<input type="radio"/> (1本入)	<input type="radio"/> EZ9BP221 2本組
充電器	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	—	<input type="radio"/> EZOL81
電池パック	EZ9L48 <input type="radio"/> (2個入)	EZ9L45 <input type="radio"/> (2個入)	EZ9L44 <input type="radio"/> (1個入)	—	<input type="radio"/> EZ9L45 EZ9L44 EZ9L42
パックカバー	<input type="radio"/> (2個入)	<input type="radio"/> (2個入)	<input type="radio"/> (1個入)	—	<input type="radio"/> EZ9L80R2788※
ケース ケース用小箱無し	EZ9646 <input type="radio"/>	EZ9646 <input type="radio"/>	EZ9646 <input type="radio"/>	—	<input type="radio"/> EZ9646 (ケース用小箱無し) <input type="radio"/> EZ9648 (ケース用小箱有り)
ケース用小箱	—	—	—	—	<input type="radio"/> EZ9633B7857P※
ビットピース	—	—	—	—	<input type="radio"/> EZ574B7817※

●深さアジャスター(EZ9770)は、本体には取り付けできません。

※補修用部品としてお買い求めできます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト



Panasonic Store

充電する

スライド式リチウムイオン電池パックの充電ができます。

充電の前に

充電器は0~40 °Cの場所に設置し、充電する場所の温度に近い電池パックを充電してください。

電池パックの温度が0 °C以下で充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります。その場所で1時間以上放置してから充電してください。

お願い

- 電池パックを2パック連続で充電したときは充電を約30分休止し、充電器の温度が下がってから充電してください。
- 電池パックを差し込んだ直後にファンの送風音がしなければ充電器の故障が考えられます。ただちに修理をご依頼ください。[裏表紙参照](#)

お知らせ

- 電池パックの温度が-10 °C~0 °Cでも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は[P11参照](#)
- 充電器は電池パックの温度、充電モードにより、冷却ファンを制御しています。充電中にファンの動作が変化しますが、故障ではありません。
- 電源プラグを抜いた後も電源ランプが約10秒点灯している場合がありますが、故障ではありません。

※この取扱説明書に記載の温度は目安です。実際には、条件により、多少のズレが生じる場合があります。

充電のしかた

- お買い上げ時はフル充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。

1 コンセントに 電源プラグを差し込む

電源ランプ▶点灯

2 電池パックを充電器に装着する

- ①位置合わせマークを合わせて差し込む
- ②底に当たったら矢印の方向に引く

充電状態ランプ▶充電状態を表示

[P11参照](#)

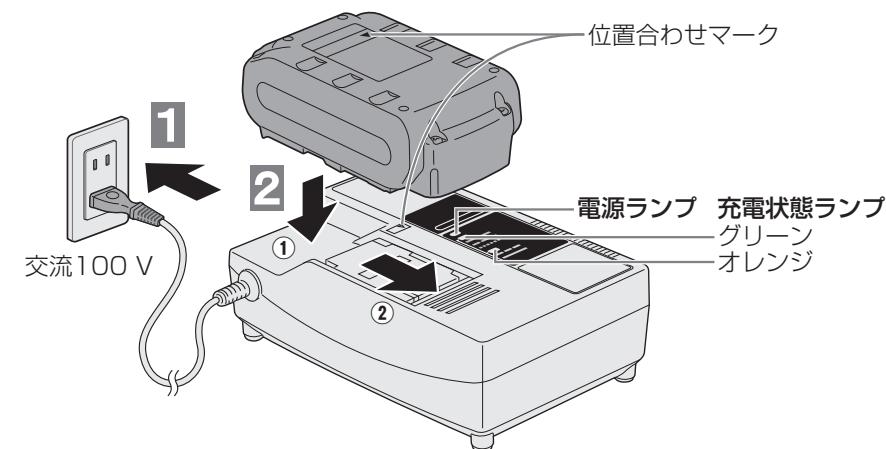
実用充電とフル充電について

実用充電:フル充電の約80%以上の充電が完了した状態。急速に充電します。

フル充電:実用充電完了の後も、充電を続けると電流を下げて電池の能力一杯までゆっくり充電します。

●充電時間は[P20参照](#)

3 充電後は、電池パックをはずし、 電源プラグをコンセントから抜く



充電状態ランプの見かた

		点灯	---	遅い点滅	速い点滅	-----	消灯
充電状態ランプ		グリーン	オレンジ	充電状態				
		---	----	充電中				
		---	---	実用充電完了				
		----	フル充電完了				
		-----	---	保護待機中*				
		-----	---	保護充電中*				
		充電不可				

充電状態ランプの説明:
充電中: 電池パックの温度が高いとき(60 °C以上)、または低いとき(-10 °C以下)
▶電池パック保護のため、充電は行いません。
▶温度が高いとき: 電池パックを冷却後、充電します。
▶温度が低いとき: 電池パックの温度が上がった後に、充電します。
(充電器が0~40 °Cの場所に設置されていることを確認してください)
実用充電完了: 電池パックの温度が低いとき(-10~0 °C)
▶電流を下げて電池パックにやさしく充電します。
(0 °C以下の電池パックを充電するとフル充電完了しても通常の約50%程度の充電となります)
フル充電完了: 電池パックの故障
▶別の電池パックに交換してください。

※電池パックの温度が-10 °C~0 °Cでも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。

ご使用の前の準備

！注意

- 本体落下防止のため、吊りひもに手を通して使用する。
また、高所作業のときは下に人がいないことを確かめる。
本体落下による事故のおそれがあります。
- ボルト締め・穴あけには使用しない。
ドリルの刃先が欠けて、けがのおそれがあります。本体の温度が上昇し、やけどやけがのおそれがあります。

本体は、0～40 °Cの場所でご使用ください。

オイルパルスインパクトドライバー 特性上のご注意

本機は、オイルの粘度を利用してトルクを発生する油圧式打撃工具です。オイルの粘度は温度により変化するため、以下の点に注意して作業を行なってください。

- 本体が高温になると保護機能が働き、締付力を抑制します。

- ・長さが90 mmを超える万能ネジ締付など、高負荷作業を連続で行なった場合、本体が高温になり、締付力を抑制する本体保護機能が働きます(電池残量がほとんどなくなったときのように締付力が落込むか、動作が停止します)。

保護機能が働いた場合、十分に放熱させると(約30分以上)、通常の性能に戻ります。

- ・保護機能が繰り返し働くような作業はさけてください。

- 本体が低温のときは使い始めに締付力が出ないことがあります。

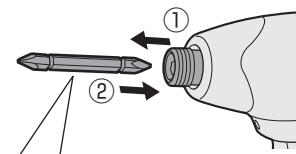
- ・本体が低温(-10 °C以下)のとき、使い始めはネジ締めに時間がかかる場合があります。この場合はネジ10本(30秒)程度ネジ締めしていただくと、通常のスピードに戻ります。

- 1 正逆切替スイッチを中央で止め、スイッチロックの位置にする**

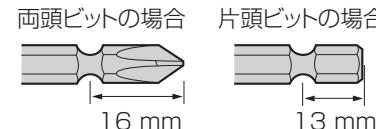


- 2 ビットを取り付ける**

- ①ビットホルダーを引っ張りながら
- ②ビットを差し込む
- ③ビットホルダーを離す



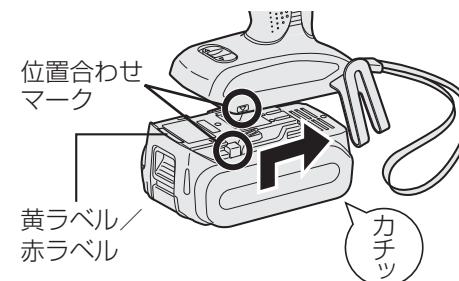
下記のビットをご使用ください。



- ビットを軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

- 3 位置合わせマークで合わせながら電池パックを取り付ける**

- 黄ラベル・赤ラベルが見えなくなるまでスライドして固定し、はずれないことを必ず確認してください。



- 4 打撃力切替スイッチで「H」(強打撃)か「S」(弱打撃)かを選ぶ**

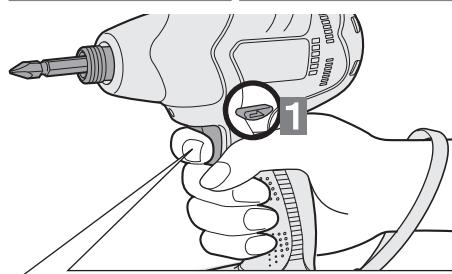
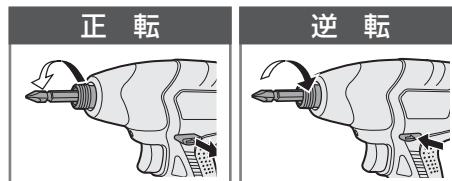
- 最後までスライドさせる

モード	最大回転数／トルク	おすすめ作業
H (強打撃)	2600回転／分 40 N·m (408 kgf·cm)	<ul style="list-style-type: none"> ●長いネジ締め等、強い力が必要な作業 ・製作時の長いネジ締め作業
S (弱打撃)	2300回転／分 26.5 N·m (270 kgf·cm)	<ul style="list-style-type: none"> ●仕上げ作業やネジ立て等、力を抑えて行なうのが適当な作業 ・石膏ボード貼り作業 ・サッシ取付作業 ・内装(ドア等)の取付作業

- Hモードで作業するときはビットが折れやすくなります。標準品または、市販の強力ビットをご使用ください。

ご使用方法

- 1** 正逆切替スイッチで正転／逆転を決めてスイッチを入れる



- スイッチを引き込むにしたがって回転数が上がる。(センター決めのときは、ゆっくりスタートする)
- スイッチをはなすとブレーキが作動。
- 正逆切替スイッチの操作はモータが停止してから行なってください。完全に停止しない状態での操作は故障の原因になります。

リチウムイオン電池パックの使用
温度範囲は0 ℃～40 ℃です。
寒冷地などで0 ℃以下に冷えた電池パックをそのまま使うと、本体が正常に動作しない場合があります。このときはご使用前に電池パックの温度を上げるために10 ℃以上の場所に1時間以上放置し、電池パックの温度が上がったあとで使用してください。

作業終了

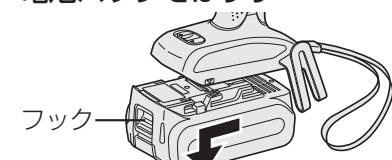
! 警告

- 作業直後はビットホルダー・ビットなど先端工具類やネジ・切りくず・電池端子に触れない。
高温になっており、やけどをするおそれがあります。

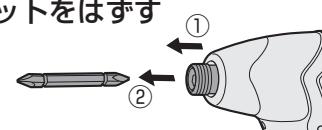
- 1** 正逆切替スイッチを中心で止め、スイッチロックの位置にする



- 2** フックを引きながら電池パックを本体前方にスライドさせて電池パックをはずす



- 3** ビットホルダーを引っ張りながらビットをはずす



電池パックに関するお知らせ

電池残量がなくなったとき

保護回路により動作を停止するため、工具の動作が不意に止まります。電池パックを充電してください。

高温保護機能について

電池パックが高温になると保護機能がはたらき動作を停止します。電池パックの温度が下がると動作を再開しますので、30分以上放熱させてください。電池パックの温度が下がっても動作を再開しない場合は、電池パックの残量がなくなっていますので、充電してください。

引掛フックの使いかた

! 注意

- 引掛フックは本体に留めネジでしっかりと固定する。
- 引掛フック使用中は、体を激しく動かさない。
本体落下による事故のおそれがあります。

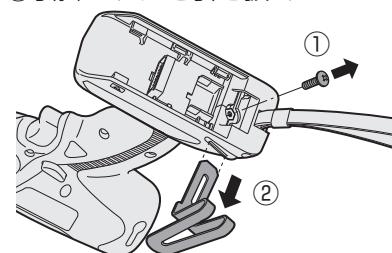


引掛フックは、左右どちらでも取り付け可能。

引掛フックの左右の付け替え

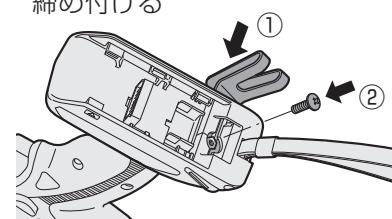
- 1** 引掛フックを取りはずす

- ①留めネジをはずす
- ②引掛フックを引き抜く



- 2** 反対側に取り付ける

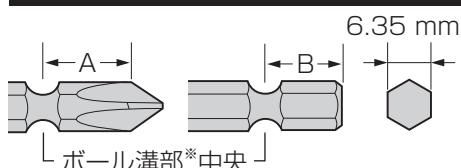
- ①引掛けフックを反対側に差し込む
- ②留めネジを最後までしっかりと締め付ける



- 留めネジは手回しドライバーで締め付けてください。電動工具などで締め付けるとネジを破損するおそれがあります。
- 引掛けフックが抜けたりゆるみがないか確認してください。

別売品の取り付けかた

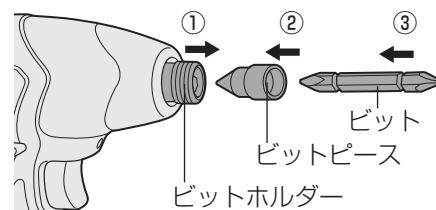
ビットの寸法と本製品への取り付けの可否



*ボール溝部のないストレートのビットは使用できません。

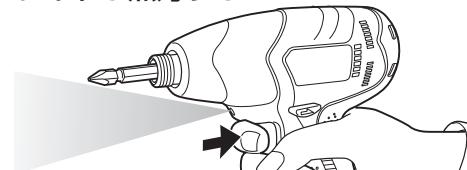
AまたはBの長さ	使用の可否
13 mm	○ 使用可
11.5 mm	✗ 使用不可
9 mm	△ ビットピース(別売)が必要です。

ビットピースの取り付けかた



LEDライトを利用する

スイッチを引き込むと
ライトが点灯する



- スイッチをはなす(スイッチ切)と消灯します。
- ライトは微少電流で点灯します。
本体作業能力にはほとんど影響ありません。

お手入れ・保管

お手入れ

やわらかい布でふく

ぬれた布やシンナー、ベンジン、アルコールなど揮発性のものは使用しない。(変色・変形・割れの原因)

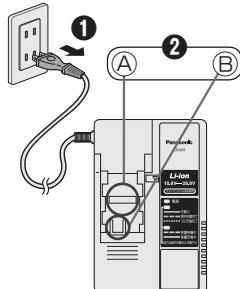


定期点検の実施

- ネジのゆるみ、破損、動作の異常などがないか定期的に点検してください。
- 充電器のコードが破損していないか定期的に点検してください。

充電器の電池パック装着部のゴミを取り除く

①電源プラグをコンセントから抜く



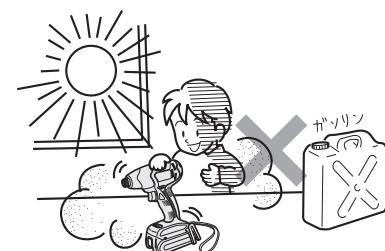
②電池パック装着部のゴミを取り除く

- カバーを押さえて端子ⒶとⒷを露出させ、ゴミを取り除く。
Ⓐ:ブラシなどで端子に無理な力がかからないように取り除く。
Ⓑ:布などで取り除く。

保管

以下の条件を避けて保管する

- 車中などの高温場所
- 直射日光のある場所
- 水や湿気などの多い場所
- ゴミやほこりの多い場所
- 子供の手の届く場所
- ガソリンなどの引火物がある場所



電池パックについて

! 危険

- 当社充電工具専用の充電式電池パック以外を使わない。
改造した電池パック(分解して内蔵部品を交換した電池パックを含む)も使用しない。
- 電池パックは、火への投入、加熱をしない。
発熱・発火・破裂のおそれがあります。
- 本体または充電器からはずした後は、電池パックにパックカバーを必ず取り付ける。
取り付けないと電池端子が短絡して発火のおそれがあります。

電池パックの寿命

寿命の目安／処置

フル充電しても初期の半分程度の作業しかできないときは製品寿命です。当社充電工具専用の電池パックをお買い求めください。当社指定以外の電池パックを使用された場合の事故・故障については、一切の責任を負いかねます。

ご注意

電池パックの中の蓄電池のみを交換したりサイクル修理工品の電池パックは使用しないでください。事故や故障のおそれがあります。

リサイクルについて

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済み電池パックは再利用しますので廃棄しないでお買い求めの販売店へお持ちください。(電池パックは短絡防止のため、端子部に絶縁テープを貼ってください)。※EZ7545Xは電池パックを付属していません。ご使用の電池パックに応じたリサイクルをお願いいたします。

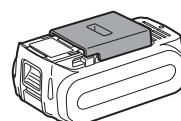


お手入れ・保管

お知らせ

長持ちさせるために

- リチウムイオン電池パックは使用後、充電せずに保管してください。
- 使用時以外は、ホコリの付着や短絡防止のためパックカバーを取り付けてください。



- 端子部に異物が付着している場合は、取り除いてください。

本製品の使用電池

- 名称:密閉型リチウムイオン蓄電池
- 公称電圧:3.6 V
- 数量:EZ9L48 8本
EZ9L45 8本
EZ9L44 8本

電池パックを使用しないときは

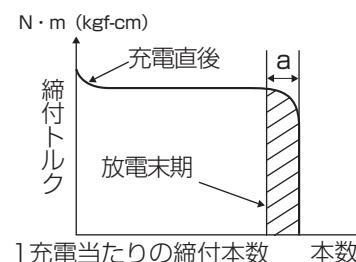
保管の前に	充電せずに保管
再使用の前に	フル充電

締付トルクについて

締付トルク

締付トルクは電池パックの充電状態により変化します。右図は締付トルクと締付本数の関係を示した例です。

放電末期(図中a範囲)になると、打撃力は弱く、打撃数は少なくなり、急激に締付トルクが低下します。早めに電池パックの充電を行なってください。



能力

適応用途

木 ネ ジ $\phi 3.5 \sim \phi 9.5$

1回のフル充電による使用能力

- EZ9L48、EZ9L45、EZ9L44使用時/周囲温度20 °C
- 数値は目安です。電池パック性能の経時変化、相手材の硬さなどにより変わります。

①ネジ締め

打撃力切替スイッチ「H」(強打撃)設定時

ネジの種類	ネジ寸法	材 料	締付本数		
			EZ9L48	EZ9L45	EZ9L44
万能ビス	$\phi 4.2 \times 75$ mm	米松	約300本	約270本	約210本
	$\phi 4.2 \times 90$ mm		約220本	約190本	約150本
ボード用 スクリューネジ	$\phi 3.8 \times 28$ mm	石コウボード (厚み12 mm) +赤松	約2300本	約2050本	約1600本

打撃力切替スイッチ「S」(弱打撃)設定時

ネジの種類	ネジ寸法	材 料	締付本数		
			EZ9L48	EZ9L45	EZ9L44
ボード用 スクリューネジ	$\phi 3.8 \times 28$ mm	石コウボード (厚み12 mm) +赤松	約1450本	約1250本	約1000本

※電池パック EZ9L42の使用能力は容量の違い等により、EZ9L44比で約40%相当となります。

仕様／ご愛用者登録について

本体

モータ電圧	DC14.4 V		
質量(重量)	EZ9L48装着時:約1.7 kg EZ9L45,EZ9L44装着時:約1.65 kg		
大きさ(概略寸法)	全長 全高 *幅 163×235×ø59(mm) (電池パック最大幅75 mm)		
打撃数	「H」強(打撃力):約0～1500回/分	「S」弱(打撃力):約0～1000回/分	
回転数	「H」強(打撃力):約0～2600回転/分	「S」弱(打撃力):約0～2300回転/分	

※電池パック EZ9L42使用時の本体出力は、EZ9L45,EZ9L44使用時より若干低くなる場合があります。

充電器(EZOL81)

電源	AC100 V 50/60 Hz	消費電力	約198 W	質量(重量)	約900 g
----	------------------	------	--------	--------	--------

充電可能な電池パック	電池パックの種類		リチウムイオン電池						
	電池電圧	28.8 V	EZ9L84	EZ9L82	EZ9L81				
	充電時間	実用	約45分	約30分	約27分				
		フル	約65分	約45分	約50分				
	電池電圧	21.6 V	EZ9L62	EZ9L61					
	充電時間	実用	約42分	約22分					
		フル	約55分	約41分					
	電池電圧	18 V	EZ9L54	EZ9L53	EZ9L51	EZ9L50			
	充電時間	実用	約40分	約40分	約48分	約37分			
		フル	約60分	約55分	約60分	約50分			
	電池電圧	14.4 V	EZ9L48	EZ9L47	EZ9L46	EZ9L45	EZ9L44	EZ9L42	EZ9L41
	充電時間	実用	約40分	約30分	約25分	約38分	約28分	約25分	約19分
		フル	約60分	約35分	約41分	約54分	約45分	約30分	約38分

- 充電時間は目安です。周囲温度や電池パックの状態により異なります。
- 表には、販売中の電池パックと一部販売中止後の電池パック(補修用性能部品保有期間中のもの(販売中止後5年))を掲載しています。
- 表中のEZ9L81・EZ9L61・EZ9L41は、充電器EZOL80でも充電できます。

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、便利なサービスを利用できます

詳しくはこちる <https://club.panasonic.jp/aiyo/>

ご愛用者登録用の製造番号について

製造番号の欄には、次の6桁の数字を入力してください。

432513

※上記の製造番号は、今回ご購入の製品のみご利用できます。

※他の製品をご登録の場合、WEBサイトをご参照ください。

故障かな?と思ったとき

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因	処 置
充電完了した電池パックを再度充電すると、充電状態ランプ(グリーン)が点灯する。	フル充電を検知するのに時間がかかるため。	しばらくするとフル充電完了(グリーン:速い点滅)になります。
充電中、テレビ・ラジオに雑音に入る。	高周波で制御しているため。	別のコンセントで、充電する。テレビ・ラジオから離して充電する。
電池パックを差し込んでも充電状態ランプ(グリーン)が点灯しない。	充電器と電池パックの接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。 P16参照
充電中に保護待機中の状態になる。 [*] (オレンジ色のランプが遅く点滅)	電池パックの温度が60 °C以上になっている。	周囲温度が0～40 °Cの場所で充電する。 0～40 °Cの場所で充電している場合は、そのまま充電を続けてください。電池パックの温度が充電に適した温度になると自動的に充電を開始します。
動かない。(LEDランプが点灯しない)	本体または、電池パックが高温になり保護機能が働いている。	作業を中断し、本体または、電池パックの温度が下がってから使用する。
動かない。(LEDランプは点灯する)	本体が高温になり締付力を制御する保護機能が働いている。	再度充電し、充電完了後に使用する。
フル充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	温度が低い場所(0 °C以下)で保管した電池パックを使用した。	打撃力切替を「S」(弱)にしている。
		打撃力切替を「H」(強)にする。 P13参照

※電池パックの温度が-10 °C～0 °Cでも保護充電中とならず、充電できない(保護待機中となる)電池パックもあります。詳細は P11参照

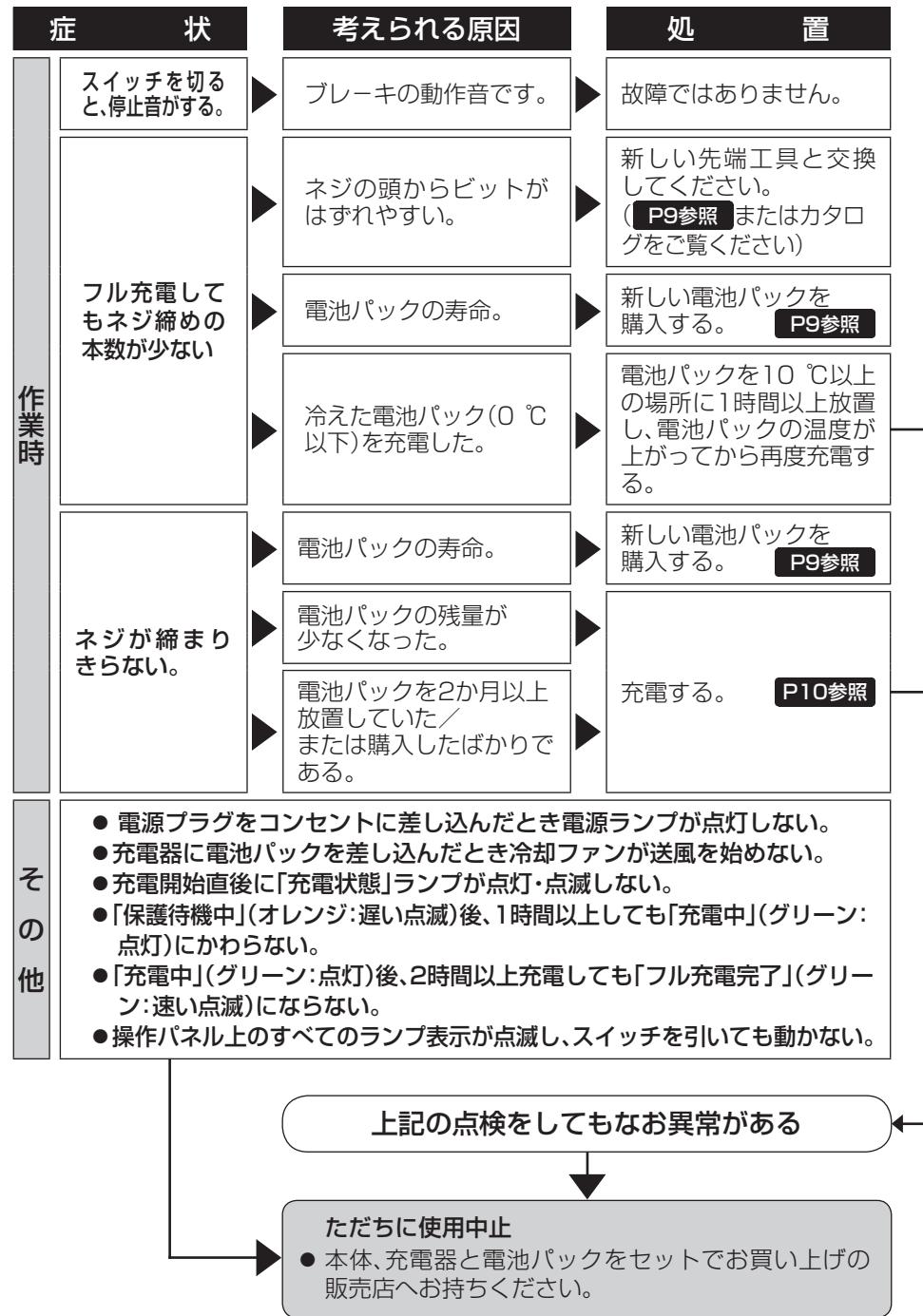
上記の点検をしてもなお異常がある

ただちに使用中止

- 本体、充電器と電池パックをセットでお買い上げの販売店へお持ちください。

お知らせ

点検方法



使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電 話 () -

お買い上げ日 年 月 日

●製品名	充電オイルパルス インパクトドライバー
●品 番	EZ7545(LJ2S·LS2S·LR1S·X)
●故障の状況	できるだけ具体的に

修理を依頼されるときは

21~22ページの表でご確認のあと、直らないときは、まず、電池パックをはずして、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 保証期間中は、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれりますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間:お買い上げ日から本体・充電器6か月間(ただし、電池パック・ケースは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)
工場でのライン作業など連続長時間使用による故障及び損傷は対象外とさせていただきます。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

*修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

*補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、この充電オイルパルスインパクトドライバーの補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後5年保有しています。

保証とアフターサービス（つづき）

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

住まいの設備・建材 サポートサイト

<http://sumai.panasonic.jp/support/>

使い方・お手入れなどのご相談 [受付時間] 365日/9:00~18:00

パナソニック 照明と住まいの設備・建材 お客様ご相談センター

フリーダイヤル バナは ナットク
0120-878-709

■ 左記電話番号がご利用いただけない場合
06-6906-1109

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら
電話機ボタンの「8」と「11#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「*」ボタンを押してから操作してください。)

Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

ライフソリューションズ 修理サービスサイト
<http://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

修理に関するご相談 [受付時間] 月~土/9:00~19:00
日・祝日・年末年始/9:00~18:00

パナソニック ライフソリューションズ 修理ご相談窓口

フリーダイヤル バナニ イコー
0120-872-150

■ 左記電話番号がご利用いただけない場合
06-6906-1090

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

※ 上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知させていただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にて連絡ください。

愛情点検 長年ご使用的充電器、充電オイルパルスインパクトドライバーの点検を!

	<p>こんな症状はありませんか？</p> <ul style="list-style-type: none">本体や充電器が破損、変形したり、こげくさい臭いがする。充電器のコードが損傷している。動作中に異常な音がする。	<p>→</p> <p>ご使用中止</p> <p>故障や事故の防止のため、電池パックまたは充電器の電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店に点検をご相談ください。</p>
---	---	---

パナソニック株式会社 エナジーシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Corporation 2019

EZ901075459 Y0509-8109